

【自由意見の内容】

(調査票回収期間 令和元年11月1日～11月8日)

景況調査票の自由意見欄に277通の貴重なご意見をいただきました。
ご多用中にもかかわらずご記入をいただき、感謝申し上げます。

分類項目 (最近の状況や関心事)	件数
1. 経済・景気動向	94
2. 業界の動向	43
3. 顧客・得意先	35
4. 為替	7
5. 金融・資金繰り	15
6. 売上・収益	64
7. 物価変動	8
8. 消費税	58
9. 人材の確保・育成	63
10. その他	16
計 (複数回答)	403

以下に、それぞれの特徴的な意見を掲載させていただきます。
なお、掲載にあたり、若干の加筆・修正を加えています。

1. 経済・景気動向について

- 日本経済の先行きがどのようになるか気になる。少子化、100年時代、若者への負担がますます大きくなるように感じられる。(ニット製衣服製造業)
- 2020東京オリンピック・パラリンピック後の景気動向が心配だ。(装身具・装飾品製造業)

- 景気動向が不透明。先行き不安。(照明・電子応用装置製造業)
- とにかく受注が減り、先行きが見えない。(鉄鋼・石油・鉱物卸売業)
- 米中貿易問題や日韓問題は大きな影響がある。特に韓国向けビジネス。(家庭用電気機器卸売業)
- 消費意欲が弱いように感じる。(男子服小売業)
- GAFAなどによる経済の大変革への対応が急務である。(家具・インテリア小売業)
- 最近の経済や景気動向はさっぱりわからない。(出版業)

2. 業界の動向について

- 業界全体でジリ貧状況が続き、廃業が増加している。(なめし革・革製材料製造業)
- 中国の金型が安いので多くの金型工場が廃業した。なんとか経営しているが、設備投資はとて無理で、今ある設備を修理してがんばっている。(金型製造業)
- 業界全般について経済減速の兆候は特段みられないが、その予兆があるようで細かい受注減がみられる。中国向け産業機械の輸出減等が重なると悪い方向に行くようで心配だ。(理化学・光学機器製造業)
- アパレル業界、特にミセス向けの小売店はイベント等を実施しても集客が悪く苦戦している。(婦人服小売業)
- 業界自体よくない。これから先が心配。(花・植木小売業)
- 2020東京オリンピック・パラリンピック関連の工事もほぼ終了に近づき、今後の先行きが不透明で心配だ。(建築設計業)
- 業界が中小企業に厳しい環境になっており、競争に生き残るための策に苦心している。(その他専門サービス業)
- 同一賃金同一労働の働き方改革に対応するため、中小人材派遣業はコスト増、売上減の重圧で今後の経営に不安を感じる。(労働者派遣業)

3. 顧客・得意先について

- 販売先が商売にならないとの理由でなくなってきている。(かばん・袋物卸売業)
- 通販が伸びて一般店の売上が厳しく、廃業するお客様が出てきた。
(文房具・事務用品卸売業)
- 得意先の利益率が低迷しており設備投資をしない。また、得意先の廃業が多い。
(機械修理業)

4. 為替について

- 為替動向が円高になってほしい。(婦人・子供服卸売業)

5. 金融・資金繰りについて

- 買い控えが続いているようで来店自体が少ない。先行発注なので、仕入調整が難しく資金繰りが苦しい。(かばん・袋物小売業)
- 消費税率が10%となり、資金繰りが今まで以上に大変になると思う。(燃料小売業)
- 社会保障及び働き方改革の影響により、現場では賃金や資金繰りが厳しく、仕事があってもまわしきれていない。(花・植木小売業)

6. 売上・収益について

- 9月以降、受注の動きが鈍い。(家具製造業)
- 売上が減少して困る。(ゴム製品製造業)
- 物販が全体的に振るわないなか、ジュエリーも同様に売上が目標及び前年同月比ともにマイナスの状況が続いている。(装身具・身の回り品卸売業)
- 9月10月は今までにない最低の売上だった。顧客も将来が不安でお金が使えないと嘆いている。修理できるものは修理することをモットーにお客様に喜んでいただいているが、売上は伸びない。(時計・眼鏡小売業)

- 車の性能が著しく向上したため、代替サイクルが伸び、売上を上げるのが困難。(自動車小売業)
- 価格競争が厳しく、収益の確保が難しい。(普通洗濯業)

7. 物価変動について

- 印刷業界は厳しい状態が続いており、材料が値上がりしても販売価格に転嫁しづらいのが現状である。(印刷業)
- 商品仕入単価の値上げが多い。(靴・履物小売業)
- 今年は食料品価格の高騰で苦しんだ。(料理品小売業)

8. 消費税について

- 一部製品の値上げと消費税増税前の駆け込み需要で9月の売上が増加したため、10月の売上が落ち込んでいる。(紙製品製造業)
- 消費税率10%につき駆け込み注文が殺到し、売上が伸びた。(医療用機器製造業)
- 消費税率引き上げ後、顕著に買い控えがあらわれている。(文房具・事務用品卸売業)
- 軽減税率のレジ対応はできたが、経理上で消費税の集計に課題が残っている。(各種食料品小売業)
- 軽減税率が適用される食品業界であるが、容器やガソリン等が10%なのに、なかなか値上げができない。(米穀類小売業)
- 消費税率10%と8%の事務に手間がかかる。(茶・のり・乾物小売業)
- 消費税率が10%となったが、売上の落ち込みは少なく思ったほど悪くなかった。(家庭用品・他什器小売業)
- 予定どおり消費税の関係で、9月は好調であったが10月は財布のひもを締められた。(自転車小売業)

- キャッシュレス・消費者還元事業の効果が出ていない。手続きが複雑すぎる。
(スポーツ用品小売業)
- 消費税増税分の価格への反映が早期に定着できるかが問題。
(駐車場業)
- 生活基盤である住居等不動産取引においては金額が大きいため、消費税が二の足を踏ませてしまい、少なからず影響がある。
(不動産取引業)
- 今のところ、消費税増税後の売上への影響は出ていない。
(一般飲食店)

9. 人材の確保・育成について

- 特定の人気職種に人材が集中し、人材の確保に相当苦勞する企業の話をよく聞くようになった。人材育成の試みの一つとして、異業種他企業とともに若手の育成に取り組んでいる。
(かばん・袋物製造業)
- 設計、製造等にて人材が不足しており、確保が難しい。
(金属加工機械製造業)
- 海外で仕事をする時代に来ているので、その人材確保が必要だと思っている。
(婦人・子供服卸売業)
- 人材の流動化が進んでおり、特に若年層は顕著である。仕事の充実感、One Team 職場の活気等をキーワードに魅力ある会社を目指したい。(その他化学製品卸売業)
- 営業職の増員(雇用)ができない。
(その他電気機器卸売業)
- 人材の確保、スタッフの定着が悪く、作業がスムーズにいかない。利益へつながらず不安定な状態である。
(映像・音声制作業)
- 運送部門ではドライバーが不足し、工場部門では作業員が不足している。求人広告を出しても応募がない状況が何か月も続いている。
(廃棄物処理業)
- 仕事の受注にあたってその案件を受けられるだけの人材がおらず、結果、受注を断るようなことがたびたびあり、人材の確保・育成が重要な課題となっている。
(産業用機器賃貸業)

- 人材の確保が困難である。
(計量・非破壊検査業)
- 有給休暇を取ってもらうために人員を増やす。そのコストがかかる。
(一般飲食業)

10. その他

- 台風・大雨の影響を受けた。
(装身具・身の回り品卸売業)
- 物流が安定しなくなっている。ドライバー人員確保のため、賃金アップにより物流費が値上げになったとしても、物流の安定がほしい。
(セメント・板ガラス卸売業)
- 新規業務開拓に取り組みたい。
(その他専門サービス業)
- 消費税も上がり景気もさらに悪化。いろいろな自然災害が続き厳しい状況。
(一般飲食店)
- 消費税増税により客離れ、大雨や台風で事業中止によりこの先が不安。
(宿泊業)
- キャッシュレス決済の動向に関心がある。
(スポーツ施設提供業)